

小平市生活支援体制整備事業 第1層協議会 「だれかとつながれる地域づくり」ニュースレター

NO.1



生活支援体制整備事業や第1層協議会について

生活支援体制整備事業…

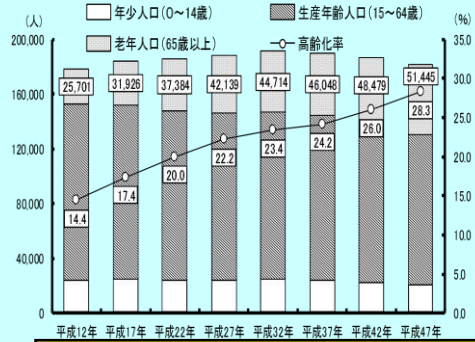
平成28年度より、少子高齢化が進む中、誰もが安心して暮らし続けるための話し合いの場として協議会の設置と生活支援コーディネーターの配置がされました。

この事業は、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために必要となる生活支援体制の充実・強化を図ることを目的としています。

第1層協議会…

第1層とは市全域のエリアを指します。誰もが安心して暮らせる支え合いのある地域を目指して、協議・検討をしています。第1層協議会の委員は15名で、市内で積極的に活動されている方で構成されています。

※各地域包括支援センターでは担当エリアごとに第2層協議会が行われています。詳細は担当の地域包括支援センターに問合せください。



人口減少にもならない高齢者の方を支える人材が不足すると言われていました
(人口推計報告書参照)

第1層協議会委員の紹介(平成30年度~令和元年度)

学識経験者(◎)、地域サポーター(○)、NPO法人
介護予防見守りボランティア、通いの場スタッフ
小平ケアマネ連絡会、小平商工会、自治会役員
市民活動支援センターあすびあ、社会福祉協議会
障がい者福祉施設、民生委員児童委員協議会
地域包括支援センター(◎会長、○副会長、途中交代有り)

過去2年間の実施報告~第1層協議会の協議内容と主な成果~

認知症フェス2019へのブースの出展について(2019.10.19(土)福祉会館にて開催)

~見る・知る・参加する「誰かとつながれる」地域づくりを目指して~

これまでの第1層協議会にて、「この事業をもっと市民に周知する必要がある」や「地域づくりの担い手を見つけるためには、多くの協力者を募らなければならない」等の意見が委員より挙げられました。この事業を広く市民に周知することが地域づくりの第1歩になるとの思いで、今回、初めて第1層協議会として生活支援体制整備事業の周知のために認知症フェス2019(※)にブースを出しました。

◇出展ブース来場者数：95人 ◇ブース内容：各地域の取組紹介、助け合い体験ゲーム 等

◇地域で「困っていること」「あったらいいな」アンケートへの回答数：21

来場者の感想①

助け合い体験ゲームに参加しました。楽しみながら、助け合いの大切さを学びました！

来場者の感想②

自分の住んでいる地域でこのような取組がされていることを初めて知りました！



ご来場していただいた皆様、ありがとうございました。今後も引き続き、事業の周知を行う予定です。

※認知症フェス2019：毎年11月に行われている認知症周知を目的とした認知症週間事業の1つ(市主催)

今回は、その取組の一部をご紹介します♪

瀧口会長(学識経験者)より

生活支援体制整備事業の議論を始めて4年が経過し、小平市内の課題が見えてくると同時に、居場所が少しずつ増えています。市内全域を居場所にしていくこと、更に外国籍の人や障がい者も含めた地域住民の顔の見える関係を作ることがこれからの大きな方向だと思います。

地域の方へ一言!

細江副会長(地域サポーター)より

少子高齢化が進む中で、住みにくさを感じている高齢者や支える家族が増えています。今まで市内の地域の特徴を調べて、居場所の開設などの取組を進めてきました。今後さらに小平市全体の生活の支援がどうあるべきかを考え、高齢者のみならず子育て世代、障がい者等を含めた生活支援体制を構築していきたいと思っています。

誰かとつながれるニュースレターの発行は、2年に1回の発行を予定しています(次回(N02)は、2022年4月頃を予定)「地域で何かやってみたい♪」「地域づくりに興味がある♡」「高齢の方の力にになりたい!」という方は、ぜひ担当の地域包括支援センターまで、ご連絡をお願いいたします!

(発行) 令和2年4月 小平市生活支援体制整備事業第1層協議会・小平市

(問合せ) 小平市地域包括支援センター中央センター ☎042(345)0691 小平市高齢者支援課 ☎042(346)9539

